

富山の女性たちの健康と未来を見つめる



未来への約束

Promise to your future

女性の健康をサポートするさまざまな情報を発信する子宮頸がん啓発キャンペーン「未来への約束」。

今回は、がんと向き合う患者を専門的な知識で支える「乳がん看護認定看護師」に注目しました。患者の心身に寄り添う、その取り組みや思いを通して、女性なら誰もがかかる可能性のあるがんについて、また自分の健康について、あらためて考えてみませんか。

苦しむ女性たちを
医療の現場で見てきたからこそ、
検診の大切さを伝えたい。



患者の思いに 寄り添うために

全国で毎年5万人以上が新たに発症し、約1万2000人が亡くなっている乳がん。女性が人生で最も充実し、多忙な時期でもある30代後半から40代が発症のピークで、患者や家族には重い負担や不安がのしかかります。そんな乳がん患者を専門的な知識や技術で支えるのが「乳がん看護認定看護師」です。

酒井裕美さんは制度が始まった2006年、半年にわたる教育カリキュラムと試験、認定審査を経て、県内で最初の乳がん看護認定看護師となりました。

乳がん患者は手術翌日には歩行でき、身の回りのことも自分でできます。

「一見」手のかからない患者さん「なのです」と酒井さん。「ある夜、患者さんが泣いているのに気づいて声をかけると、乳がんの手術後に初めてシャワーをし、自分の胸の傷を見て泣ってきたと…。そのとき患者さんの

泣き声が聞こえて、涙が止まらなくなってしまった」と。その後、患者さんと一緒に涙を拭く手を握った瞬間、涙が止んだ。涙を拭く手が、患者さんにとって安心感や温もりを感じさせる手だった。

思ひに寄り添うという、看護の基本を忘れていたと気づかされました。また最新の医療情報を誰もが得られる時代になり、患者の知識が豊富になるなかで、乳がん治療や乳がん看護について、より専門的に学びたいと認定看護師を目指したのでした。

がんと向き合う 心と体を支える

乳がんには4つのタイプがあり、治療方法もいろいろで、しかも日々進化しています。患者の多くは、医師から説明を受けただけでは、わからないことばかり。治療の目的や方法を理解し、納得した上で治療を受けられるよう、酒井さんはわかりやすくかみ砕いて説明を加え、患者の疑問や不安を解いていきます。また乳がんは退院後も通院で長く治療が活動を続けています。

県内どこでも より良いケアを

乳がん患者を支える一方で、患者を支える看護師もサポートしていくこと、酒井さんは病院の枠を超えて県内の看護師たちと連携し、2007年に「TOYAMA・BCN（ブレストケアナースサポートチーム）」を始動させました。看護師のレベルアップをめざし、医師の協力も得ながら研修やセミナーなどを開催。富山県内のどの病院を受診されても、患者がより良いケアを受けられるよう、乳がん看護認定看護師（現在県内に5人）を中心に15人程度のメンバーが活動を続けています。

オレンジティの 出張おしゃべりルーム in富山

- 10/14(日) 県民会館5階 13:30~
- 11/10(土) 県民会館7階 13:30~
※リバ浮腫の基礎を学ぶ講習会を開催
- 12/ 9(日) 県民共生センターサンフォルテ 13:30~

今後の開催予定
キャンぺーンの内容は専用サイトでもご覧いただけます。
北日本新聞 未来への約束 検索

北日本新聞の子宮頸がん啓発キャンペーン
「未来への約束」がきっかけで、富山県内でも女性特有のがん体験者をサポートする活動が始まっています。

参加申し込み・問い合わせは
オレンジティ事務局 热海郵便局私書箱34号
☎ 090-7434-2002 (受付9:00~19:00)
オレンジティ <http://o-tea.org/> 検索

[URL] <http://woman.kp-kikaku.jp>
北日本新聞ウェブ新聞webunからもアクセスできます。

参考／独立行政法人国立がん研究センター がん対策情報センター・がん情報サービス

主催／北日本新聞社

後援／富山県、富山県教育委員会、

富山県医師会、富山県産婦人科医会、

富山県商工会議所連合会、

富山県商工会議所女性会連合会、

NPO法人 女性特有のガンのサポートグループ

オレンジティ

協賛社

AXA アクサ生命
redefining / standards

DARKS
オックス株式会社

北陸銀行

gsk
GlaxoSmithKline
グラクソ・スミスクライン株式会社

藤聖会 八尾総合病院

We!
TOYAMA
女性クリニック

YAMAN
キレイ大好き、ヤーマン。
生活応援バンク

大王製紙株式会社
R うづきん